授業科目名・形態	コミュニケーション論　　講義	必修・選択の別	選択※	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤　繭子・石岡　和志	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	C2-1003npmht				

※看護学科必修

【授業の主題】

医療・保健・福祉専門職にとってコミュニケーションは対象者や家族等、「人との関わり」において大変重要である。また、医療や介護の質を高めるためにも、他職種との連携・協働により、チームでマネジメントすることが求められる。本講義において、人間関係を形成するために必要な心理学的支援及びチームで働くための基礎的知識と方法を学ぶ。

【到達目標】

1. コミュニケーションに関する基礎的な知識を理解できる
2. コミュニケーションに関する基本的な方法を理解できる
3. チームマネジメントに関する基礎的な知識を理解できる

【授業計画・内容】

第 1 回　コミュニケーションとは（石岡）
第 2 回　自己覚知と気づき（他人からみた自分）（石岡）
第 3 回　コミュニケーション・テクニック(1)（石岡）
第 4 回　コミュニケーション・テクニック(2)（石岡）
第 5 回　個人と集団 ～枠組み～（黒澤）
第 6 回　思い込み（黒澤）
第 7 回　自己概念（黒澤）
第 8 回　感情表出（黒澤）
第 9 回　葛藤 ～コンセンサス法の体験～（黒澤）
第 10 回　交流分析（黒澤）
第 11 回　インタビュー（黒澤）
第 12 回　チームマネジメントの意義（石岡）
第 13 回　ケアを展開するためのマネジメント（石岡）
第 14 回　人材育成・自己研鑽のためのマネジメント（石岡）
第 15 回　組織の目標のためのマネジメント（石岡）

【授業実施方法】毎回グループワーク、リアクションペーパーの記入を実施する。

【事前・事後学習】リアクションペーパー、ワークシート、試験対策等を含め、毎回 2 時間の予習及び 2 時間の復習を行うこと。

【主な関連する科目】人間関係論、コミュニケーション技術、看護コミュニケーション、カウンセリング

【教科書等】適宜、資料配布

【参考文献】

中村裕子・野村豊子他：新・介護福祉士養成講座　コミュニケーション技術、中央法規、2019.
諏訪茂樹：コミュニケーション・トレーニング　人と組織を育てる、経団連出版、2012.
星野欣生：人間関係づくりトレーニング、金子書房、2002.

【成績評価方法】

筆記試験 90%、提出物等 10%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院・施設等での臨床経験がある。コミュニケーションの基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

コミュニケーション論は、人間関係論と共に医療・保健・福祉専門職者にとって大切な学問です。私たちが、これから対象とする方は、地域住民・対象者とその家族・高齢者・障害者など、多様なそして複雑な条件が重なり合っているうえに、個別性を重要視しなければならない人々です。学生のみなさんは自身が「どんな人」であるか見つめる機会でもあります。そして授業の内容を通して、対人関係に応用する知識を身につけ活用できるようになり、専門職として活動する力を得て欲しいと思います。